



上宝かわら版

「上宝だから」

2020年 11月版



飛騨上宝自然人倶楽部

HIDAKAMITAKARA SHIZENJINCLUB

飛騨上宝、コロナとどう向き合いますか？！

コロナ旋風が吹き荒れる日本、いえ世界。飛騨高山、さらに上宝はどうなるでしょうか？果たしてマスクと3密回避で大丈夫でしょうか？大丈夫とは言えません。

私は、今年の年末がコロナ禍の本番だと思っています。

本番とは何か？どうすればいいのか？

私は自分の見解を毎週水曜日 11:30 (再放送月曜日) 放送のHit's FMの中で述べています。

ぜひ聞いてみて参考にしてください。

そしてマスクをすれば安全でしょうか？マスクは感染者が人に移さないための効果はありますが、そのことによる弊害も考えねばなりません。マスクをしていると呼吸困難になります。つまり酸素不足です。

酸素と血液は、人間の健康にとって欠かせない基礎エネルギーです。

マスクはその基礎エネルギーを阻害します (船戸クリニック / 船戸崇史)。

コロナ対策としてのマスク使用については、その両面を考えねばなりません。

上宝で早朝からの散歩や農作業でマスクをしている方を見かけますが、コロナ対策としてのマスクだとしたらこれは危険です。3密とは縁のない状況では、マスクの使用は止めたらどうでしょう。こんなにきれいな空気をマスク越しに吸うなんて、刺身にお湯を掛けて食べるようなものです (笑)。

ただ、コロナによる経済不況は、確実に深刻化します。GO TO キャンペーンは、一時しのぎの政府政策に過ぎません。

5年先、10年先のことを考えねばなりません。更に子供の時代、孫の時代を考えねばなりません。難しい問題です。

でも、日本は立ち直ります。

高山も、上宝も新たな発展をします。

何故？ 一緒に考えましょう！

平湯大滝公園

みんなで草刈りボランティア

平湯大滝公園に草刈りボランティアが入りました。

10月13日、14日、平均年齢70歳の底抜けに明るい男達が、奥飛騨温泉郷の平湯大滝公園に集結しました。

皆さんは、草刈りなら毎週のようにボランティアに出かけるフロンティアという名の静岡県湖西市の面々です。

職業はそれぞれ違います。

このボランティアに入会するには厳しい試験を通らなければならないそうです。

技術はプロ級。あの雑草に埋め尽くされた広い公園があつという間に清々しい庭園に蘇りました。苔むした大小の岩と、それを取り囲むように横に広がったシャクナゲの青葉が突如として顔を出したのです。



綺麗になつた岩の周りにしゃくなげ



雑草が生繁つて東屋の役目を果たせていなかったのが、素晴らしく綺麗に！



このボランティアの特徴は、リーダーがないのだそうです。

草刈り現場に着いたら、それぞれの人が思い思いに自分の領域を自分の構想で草刈るのだそうです。

言いつけられるのではなく、自分で創造する草刈り造営、これはもう芸術の世界です。

13日夜、会食の席で笑いが弾けました。一人ひとりが、司会者に1分間と指示されて自己紹介しました。

その司会者は、ディズニーランドの経営母体で有名なオリエンタルランドの理事の永嶋悦子さんでしたが、司会者の言う1分間で終わる人は誰もいません。

ボランティアの人達は、多士済々で自己紹介の内容も多岐に亘り、生まれ育ちから始まり現役時代の仕事内容、趣味嗜好。共通するのは酒好きでした。

実は、入会資格の第一は酒が呑めることだったのです。

でも、酒の酔いに任せて無礼講になる人は誰もいません。

和気藹々、人の話を聞き入る見事な大人集団でした。



集合写真 シニアパワー全開！

奥飛騨温泉郷 平湯シニアの底力！

ところで、草刈りボランティア登場には、平湯の有志の下支えがあったのです。

草刈りボランティア湖西軍団を招いてくれたのは、オリエンタルランドの永嶋さんでしたが、そもそも平湯大滝公園の草刈り作業を提案したのは、岡田旅館の会長であり、合同会社奥飛騨郷の代表者の岡田昇さんでした。

岡田さんは、草刈りボランティアが来てくれると決まって、黙ってそれに頼る人ではありません。

まわりの人に参加を呼びかける一方、自ら草刈りを始めました。

こよなく平湯大滝公園を愛し、シャクナゲと岩が眠る公園の再生を誰よりも願っている人です。

その姿を見て「岡田さんだけに苦勞を掛けさせられない」と立ち上がったのが以下の平湯シニアパワーの面々でした。

田中 明さん	旅館田中
荒井一明さん	旅館湯の里
内方文男さん	平湯プリンスホテル
坂巻光弘さん	お宿栄太郎
松垣 但さん	平湯案内所所長
朝井俊臣さん	平湯バスターミナル
岡田 昇さん	岡田旅館
松田俊一さん	(同) 奥飛騨温泉郷
三桶俊一さん	〃
金住則行	〃

この人達も、草刈り技術は半端ではありません。日頃はコロナでぱったり途絶えた事業経営の対策で多忙ですが、その中で時間を作り草刈りを始めたら止まる

ところがありません。駐車場まわりから公園まわりまで、目に付くところがどんどんきれいになりました。

草刈り企画を主催した{同}奥飛騨郷が「お願いですからボランティアの人達の方はとっておいて！」と頼んだ程でした。

現地男性軍と永嶋悦子、文珠小夜子、浜田亜沙美の女性軍が、湖西ボランティア軍と共同して見違えるようにきれいになった平湯大滝公園！

それぞれが奥飛騨温泉郷の活性化と、平湯大滝が沢山の人の目に触れて、素晴らしい公園の景観を知ってもらいたいと願って草刈り頑張りました。感謝です♥

さて、行政、高山市はこの人達の努力と夢にどのように報いてくれるのでしょうか？



綺麗になったら
祠がありました



紅葉が綺麗な駐車場。

沢山の人が来ていました。(10/20)



上宝での蓮根栽培、ついに4年目の収穫期を迎えました。今年弊社の種れんこんが古川や一宮などに行き、元気に育っていると聞き嬉しくなりました。上宝も、長雨や日照不足で心配しましたが、先日試し掘りをした限りでは良い蓮根が育っていると思います。真っ白でシャキシャキです。

いよいよ茎も枯れてきて、また収穫の時期となりました。今年も駿河屋アスモ店さんに並びますので、ぜひ手に取ってみてください。ここ、上宝で採れた蓮根は「**神乃宝 飛驒産れんこん**」として販売になりますので宜しくお願いします。寒冷地の上宝で蓮根栽培、まだまだ続きます。

上宝自然人ハウスにはファイヤーピットがあります。

2年前にハウスを訪れた仲間が作ってくれ、これを囲んで星空を見たりお酒を飲んだり楽しく騒いだりできるスペースです。上に網を乗せればバーベキューコンロにもなる優れものです。上宝に住んでいても、なかなかキャンプファイヤーまではご自宅でできないと思いますが、そんな時には、ぜひハウスをご利用ください。薪や炭の準備はありますが、持ち込みも大丈夫です。お気軽にお問い合わせ下さい。

ご家族・お友達・お子様など、楽し思いでづくりにご活用下さい。もちろん花火もできますよ～。

お問合せは 090-4955-0655までどうぞ (*^_^*)



全国渡り鳥生活倶楽部がいよいよ動き出しました。弊社も江名子の夢工房と上宝自然人ハウスを登録しているので、今回は体験希望者を受け入れました。社員6名での宿泊と農業体験、そして地域の方々との交流と盛りだくさんでしたが、皆さん大喜びで帰られました。忙しい時期にもかかわらず協力して頂いた「まんま農場」さん、田植えに続き本当に有り難うございました。また、地域の方との交流では、善九郎カフェでの食事会。お赤飯や地元野菜の天ぷらや漬物等とご馳走が並びました。美味しくてお土産に持って帰られた方も多かったです。ご協力頂いた小林さん・和仁さん・坂下さん・井口さん・大下さん・吉岡さん、お世話になりありがとうございました。次回はTV取材...

毎週水曜日11:30～ Hit's FMにて

弊社代表金住の「**白ひげ弁護士の徒然日記**」を放送中！

月曜日には再放送もやっています 是非聞いて下さいね～